

1-1 別紙 (A-1)

1. 計画の区域

事業実施箇所		
	春日町 1 3 - 3 9	春日保育所
	渡利字柳小路 6 4	渡利保育所
	笹谷字西谷地 4 - 1	笹谷保育所
	黒岩字田部屋 5 3 - 3	杉妻保育所
	宮代字作田 6 6 - 2	余目保育所
	飯坂町平野字西海枝前 1 8	平野保育所
	東浜町 1 1 - 4 6	東浜保育所
	蓬莱町五丁目 4 - 1 6	蓬莱保育所
	野田町七丁目 1 2 - 2 8	野田保育所
	蓬莱町二丁目 1 - 1	蓬莱第二保育所
	御山字一本木 2 0 - 1	御山保育所
	飯野町字経檀 6 2 - 1	飯野おひさま保育所
	飯野町大久保字上戸 6 3	飯野あおぞら保育所
	渡利字番匠町 4 3	渡利児童センター
	蓬莱町四丁目 1 4 - 1	蓬莱児童センター
	飯野町青木字小手神森 1-300	U F O 広場
	荒井字上鷺西 1 - 1	農村マニユファクチャー公園

事業の効果が見込まれる区域 施設の存する各小学校通学区域

2. 計画の目標

原子力災害の影響による不安からくる子どもの運動機会減による体力の減少、肥満傾向の拡大の状況を受け、福島市では市立保育所 1 3 箇所、児童センター 2 箇所、U F O の里、四季の里合計 1 7 箇所を、主として未就学児が歩いても自転車でも行くこともできる近隣の施設として位置づけて遊具の更新を行うことにより、就学前の子どもの外遊びの機会の増加を図り、運動不足の解消、体力増強と肥満傾向拡大の改善を目標とする。

これらは、福島市復興計画における「子どもプロジェクト」にある「子どもの活動場所の安全を確保するなど、子どもの心と体、そして未来を守ります。」を具現化するものである。

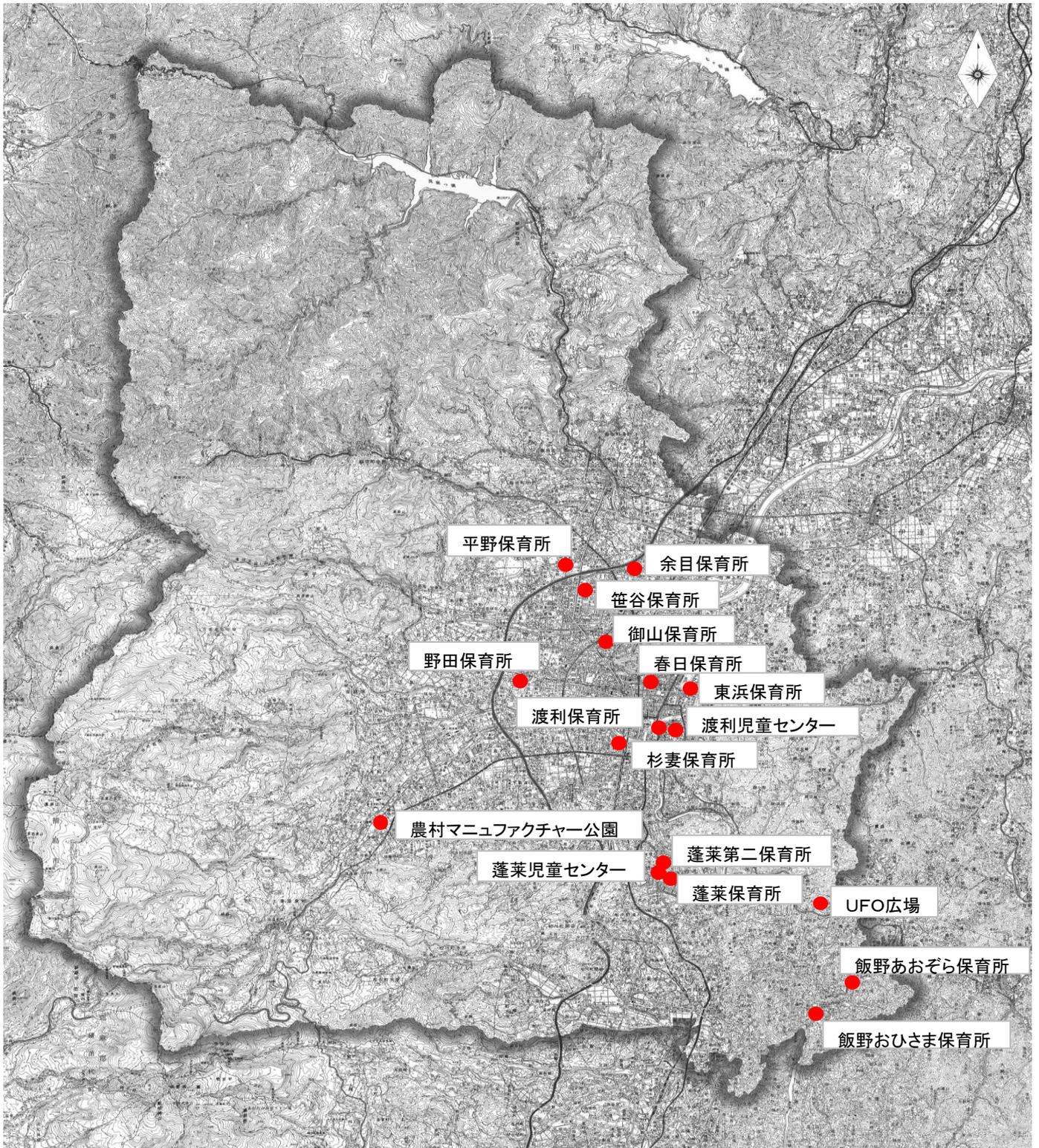
また、市教育振興基本計画においても、児童生徒の「目指す姿」として「児童生徒が体を動かすことを楽しみ、スポーツや体力向上に自ら積極的に取り組んでいます。」(抜粋)に合致するものである。

利用促進を図るため、それぞれ市広報紙を利用し遊具更新情報を市民に提供を行う。

併せて、開放事業を行っている保育所、児童センターではチラシの配付も行う。

また、それぞれ、利用者へアンケートを行い、その効果や満足度などをまとめていく予定である。

定住等緊急支援交付金 事業位置図(福島市)



公立保育所等遊具更新事業(A-1)関係

(様式 1-3)

福島市定住緊急支援事業計画に基づく事業等個票

平成 25 年 5 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	公立保育所等遊具更新事業費	事業番号	A-1-1
交付団体	福島市		事業実施主体	福島市	
総交付対象事業費	209,494 (千円)		全体事業費	209,494 (千円)	
事業概要					
○事業実施内容 市立保育所 13 箇所の全遊具 (123 基) を更新する。 市立児童センター 2 箇所の全遊具 (8 基) を更新する。 ※詳細や内訳は 別紙【参考様式 A-1】を参照 福島市復興計画における位置づけとして、「子どもプロジェクト」における「子どもの活動場所の安全を確保するなど、子どもの心と体、そして未来を守ります。また、安心して子育てができる環境を整備します。」を具現化する事業である。					
人口の流出及びそれにより生じている地域の復興における支障との関係					
(1) 人口が流出し、地域の復興がいかに妨げられているか。 別紙資料のとおり					
(2) 子どもたちが十分に運動し、体力と運動能力を養う機会を確保することにより寄与するか。 福島市では、従来から、主に放課後、休日の児童の活動の場である児童センターに加え市立保育所においても、遊びの場の提供のために所庭を開放し園児以外の子どもも受け入れてきたところであるが、原子力災害による放射線影響の不安により、子どもの屋外活動 (運動) の機会が減少し、これに伴う体力の低下や肥満傾向が見られ、健全な発育に大きな懸念がある。((1) のとおり)					
この状況を改善するため、各学区などの地域の未就学児・児童にとって利用しやすい 15 箇所の保育所・児童センターにおいて遊具を更新し、保育に支障のない範囲で積極的に所庭を開放することにより、保育所・児童センター近隣の未就学児・児童が日常的に安心して外で遊べる環境を作り、運動機会の確保を図ることとする。					
保育所・児童センターは、市で運営しており、遊具更新後は、休日には保護者の協力を得た巡回態勢を整えるなど、利用が一層促進されるよう適切に管理していく予定である。 また、地域の子どもが歩いて自転車でもアクセスは比較的容易である。 更新後は、保護者へのチラシ配付に加え、市広報紙で広報し、また、利用者 (保護者) のアンケートを実施する考えであり、継続してその効果や満足度を把握する予定となっている。					

※効果促進事業である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

福島市定住緊急支援事業計画に基づく事業等個票

平成 25 年 5 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	2	事業名	UFO 広場遊具更新事業	事業番号	A-1-2
交付団体	市		事業実施主体	福島市	
総交付対象事業費	3,450 (千円)		全体事業費	3,450 (千円)	

事業概要

○ UFO 広場の遊具更新

- ・ 既存遊具規模：高さ 2.85m、幅 7.23m、長さ 8.25m 投影面積：約 7 m²
- ・ 既存コンビネーション遊具（すべり台やブランコなどが一体となった遊具）と同規模の遊具への更新を行う。

福島市復興計画における位置づけとして、「子どもプロジェクト」における「子どもの活動場所の安全を確保するなど、子どもの心と体、そして未来を守ります。また、安心して子育てができる環境を整備します。」を具現化する事業である。

人口の流出及びそれにより生じている地域の復興における支障との関係

(1) 人口が流出し、地域に復興がいかに妨げられているか。

別紙資料のとおり

(2) 子どもたちが十分に運動し、体力と運動能力を養う機会を確保することにより寄与するか。

福島市では原子力災害による放射線影響の不安により、子どもの屋外活動（運動）の機会が減少し、これに伴う体力の低下や肥満傾向が見られ、健全な発育に大きな懸念がある。（(1) のとおり）

この状況を改善するために、国道 114 号線からのアクセスがよく、子どもにとって魅力ある複合遊具に加え、UFO 展示館、テニスコートなどの設備が整っていることから、親世代も含めた家族ぐるみでの広域の利用が期待できる UFO の里 UFO 広場において、遊具更新を行うことにより、市内の子どもが安心して外で遊べる環境をつくり、運動機会の確保を図る。

当該施設は、市で運営しており、遊具更新後も継続的に管理運営する予定である。

また、今回の計画に当たり、UFO の里は、飯野町青木地区、立子山地区の近傍で、その地区を通る 114 号国道から約 500m であり、地域の子どものアクセスは比較的容易である。

更新後は、市広報紙での広報、同広場で行うミュージックフェスティバル（8 月予定）にてチラシを配布するなど呼び込みを図り、さらに利用者（保護者）のアンケートを実施する考えであり、継続してその効果や満足度を把握する予定となっている。

※効果促進事業である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

福島市定住緊急支援事業計画に基づく事業等個票

平成 25 年 5 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	3	事業名	農村マニファクチャー公園遊具更新事業	事業番号	A-1-3
交付団体	福島市		事業実施主体	福島市	
総交付対象事業費	14,000 (千円)		全体事業費	14,000 (千円)	
事業概要					
<p>福島市荒井地内 農村マニファクチャー公園 (四季の里) 内に設置しているザイルクライミング (高さ 9m、幅 21.4m、長さ 21.4m) 1 基の更新を行う。</p> <p>福島市復興計画における位置づけとして、「子どもプロジェクト」における「子どもの活動場所の安全を確保するなど、子どもの心と体、そして未来を守ります。また、安心して子育てができる環境を整備します。」を具現化する事業である。</p>					
人口の流出及びそれにより生じている地域の復興における支障との関係					
<p>(1) 人口が流出し、地域の復興がいかに妨げられているか。 別紙資料のとおり</p> <p>(2) 子どもたちが十分に運動し、体力と運動能力を養う機会を確保することがいかに寄与するか。 福島市では原子力災害による放射線影響の不安により、子どもの屋外活動 (運動) の機会が減少し、これに伴う体力の低下や肥満傾向が見られ、健全な発育に大きな懸念がある。((1) のとおり)</p> <p>四季の里は、国道 115 号線の近傍であり、駐車場も整備されていること、さらに休日には福島駅から直行バスも運行されていることなど広域からのアクセス性が高く、親子で長時間遊び、運動できる施設として長年市民に親しまれてきたが、現在は、放射線への不安から利用者が大きく減少している。(H22 年度 432,814 人→H24 年度 325,385 人)</p> <p>この状況を改善するため、園内既存遊具 (ザイルクライミング) を更新することで、今年度整備を予定している屋根かけ運動施設と併せて、子どもたちが安心して長時間にわたり遊ぶことができる環境を創出し、運動機会の確保を図る。</p> <p>当公園については、指定管理者制度による適切な管理運営を行っているところ、例えば、現在も雪の滑り台遊びなど子どもを対象とした事業を行うための人員を確保するなどしており、今後とも適切に管理運営を行う予定である。</p> <p>また、先述したとおり、当該施設は、国道 115 号線の近傍であり、駐車場も整備していること、さらに休日には福島駅から直行バスも運行するなど、アクセスは比較的容易である。</p> <p>更新後は、市広報紙で広く情報を提供する予定であり、事業効果の把握については、利用者のアンケートを実施する予定であり、また今般、本交付金の別事業 (C-1) も事業計画を提出しており、そちらで実施するソフト事業との相乗効果も期待できる。</p>					

※効果促進事業である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

